



大学院 Newsletter

2023.1

公益大大学院の「共同研究室」

院生みなさんに共同研究室をどのように使用されているか教えていただきました



滞在する時間はどのくらい？

- ▶ おおむね毎日午前 11 時から午後 5 時まで
課題レポートや修士論文の追い込み時期は、更に長い時間滞在することも
- ▶ 1 年次は授業の前後 5～6 時間、2 年次は状況によって
資料収集や印刷が多いときには長時間滞在したり、
院生研究報告会の前など集中したいときには連日滞在しています
自宅が近ければもっと滞在しているはず！

使用する主な目的は？

- ▶ 論文執筆、執筆に向けた資料の収集
- ▶ 講義の準備・レポートの作成
- ▶ 院生・教員とのコミュニケーション
修士課程・博士後期課程の学生、留学生・社会人など多様な人が集まる場所
授業や研究で悩むことを相談したり、アドバイスをもらったり、
息抜きに話をしたいときに行くこともあります
院生生活の刺激・ネットワーク形成のきっかけに！

設備は充実？

<p>ネットワークが無線(Wi-Fi)OK パソコンに加えてスマホやタブレットでも 同時に作業を進める際に便利 自宅の通信環境より高速！</p> <p>機器・ネットワーク</p> <p>1人1台のパソコン パソコンを持ち歩かなくて良いのはラク！ 複合機でスキャン・印刷・コピー等が できるので研究がはかどります</p>	<p>論文執筆のために 資料を集めていくと膨大な量になるので ロッカー付きの広いスペースは 非常に助かります 先輩方が残していった書籍がたくさん</p> <p>デスク・ロッカー・書棚</p> <p>教科書や参考書籍・書類は相当の量 それに加えてアンケート調査などの重要書類は 持ち歩きを控えているため 研究室の豊富なスペースには 助かっています</p>	<p>ソファ・冷蔵庫・電子レンジあり 一息つくこともできます 集中したいときに 自宅以外に使用できる大変貴重な場所</p> <p>24時間365日 使用 OK</p> <p>定期的に清掃してくれるので快適 自分のペースで作業を進めることができ、 特に修士論文の締め切りが近い時期には 大変助けられました</p>
		<p>景観・立地も GOOD 疲れたときには 動植物に癒されます</p>

共同研究室的メリット・魅力

大学院は自分にとっての「サードプレイス」！共同研究室で過ごす時間を「楽しい」と感じるようになったことをきっかけに、そう思うようになりました
「暮らせませす！」といったら言い過ぎかもしれませんが、敷地内にあるセミナーハウス宿泊室とあわせて、研究のために長時間滞在することができます

他の大学院の研究室と比較しても劣らない大変便利な研究室です！

先輩方と交流できるため、社会人の方はもちろん、学部を卒業してすぐに大学院に進学される方にとってはとても良い場所です！

授業見学とあわせて、教室や共同研究室の見学も可能です。お気軽にご相談ください！

東北公益文科大学 大学院事務室（鶴岡キャンパス）
住所 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14番1号
電話 0235-29-0555 メール gs@koeki-u.ac.jp
ホームページ <https://www.koeki-u.ac.jp/academics/gs/>



ホームページも
ぜひチェック
ください！